

2040年 産業の将来構想 企業が価値づくり産業へ進化し、AI・ロボット等の未来技術を活用できる人材育成の先進地を形成する(福井県長期ビジョン)

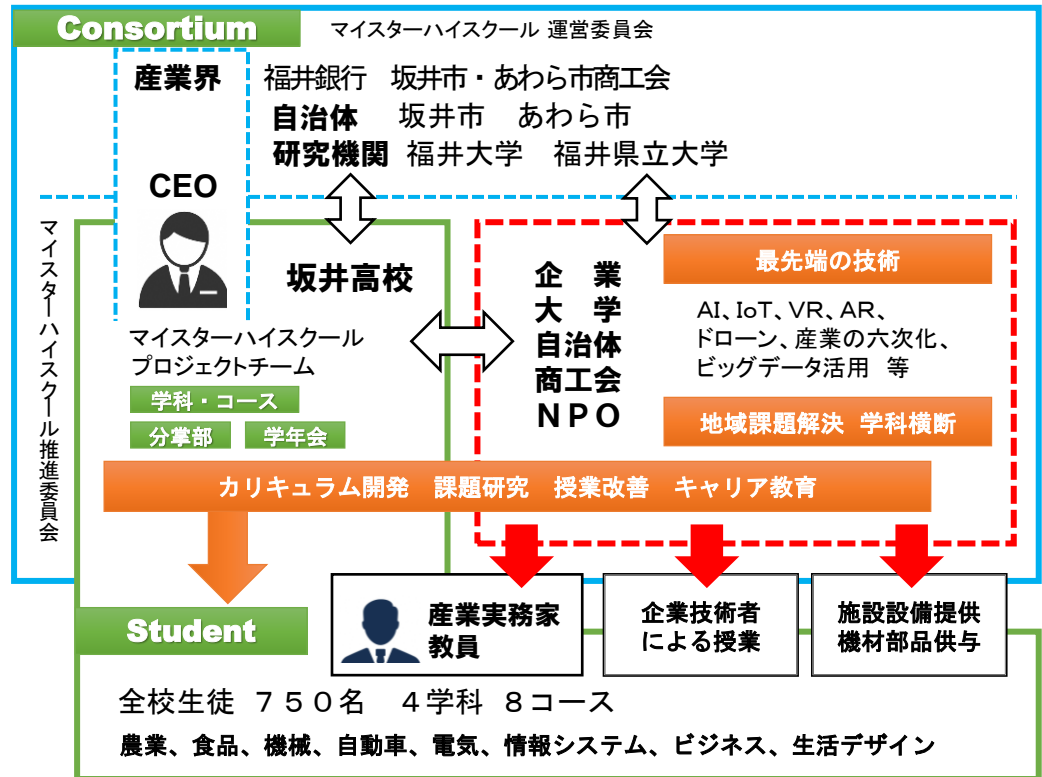
テーマ(目標)

地域の課題と地元企業の価値を理解し、 持続可能な次世代の地域産業を担う人材の育成

◇育てたい生徒像

- ◆自己肯定感を持ち、主体的に生きることができる人材
- ◆DX等の先端技術に触れ、それを用いて社会寄与に貢献できる人材
- ◆地域産業人と協働し、地域の産業の価値と課題を認識でき、持続可能でグローバルな視点を持って社会に貢献できる人材

◇実施体制



産業界との連携を強化した総合産業高校の新しい魅力の創造

主な取り組み

マイスター企画研究 テーマ(4学科8コース)

科・コース	研究テーマ
工業科(MVESコース)	ドローン飛行操縦技術のカリキュラム開発
工業科(M機械コース)	機械コースの学びを地域に還元する
工業科(S情報コース)	坂井市役所で何か役に立つことはないか提案する
工業科(E電気コース)	地熱(再生可能エネルギー)を活用した課題解決
商業科(Bビジネスコース)	観光資源などの動画作成と発信、ECサイトの開設と運営
農業科(A農業コース)	絶滅危惧種の保全活動→生物多様性の確保、SDGs実践
農業科(F食品コース)	食品ロスの低減と安心安全な食に対する意識作りと商品開発・提案
家庭科(L生活デザインコース)	Sea級グルメ全国大会における坂井市との連携活動 卒業制作発表会(ファッションショー)

◇企業訪問研修

クラス	訪問先	場所	内容	訪問日
1A	(株)フィールドワークス	あわら市北潟	とみつ金時 持続可能な農業	11/5 済
1F	(株)ふじや食品	越前市	玉子どうふ チルド食品製造工場	11/9 済
1M	前田工織(株)	坂井市春江町	土木建築資材 製造メーカー	11/15 済
1V	アイシンAW工業(株)	越前市	トルクコンバーターなど 自動車部品製造メーカー	3/10 3/11
1E	北陸電力(株) 三国太陽光発電所	坂井市三国町	三国太陽光発電所、PR館 三国風力発電所	3/11
1・2S	福井鋳螺(株)加賀工場	加賀市高尾町	精密鍛造部品製造 大型大量一貫製造体制	1/19 2/3
1・2B	あわら温泉美松	あわら市舟津	旅館業の仕事	11/9,10 済
1・2L	ローズガーデン	福井市	結婚式場(食・衣)の仕事	3/11 3/14

◇企業出前研修 2/2(水) 5・6限目 R4年度に延期

クラス	企業名	講演者	内容
2A	田中農園(株)	田中社長	無人トラクター、無人コンバイン、ドローンなどによる新しい農業実践
2F	(株)米五	多田社長	伝統の味噌作りを守りながら、みそ楽をはじめ新たな取り組みに挑戦
2M	福井鋳螺(株)	総務部	精密鍛造部品製造などのものづくり
2V	(株)UACJ	人事部 小林氏	アルミニウム製品全般
2E	北陸電力(株)	総務部 総務地域チーム	エネルギー事情、地球温暖化 発電方法エネルギーミックスなど
2S	三谷商事(株)	情報システム事業部	情報システム、DXなど
2B	福井県観光連盟 観光地域づくりマネージャー	佐竹氏	観光地域づくり
2L	工芸みらいプロジェクト	木戸氏	越前漆器の販路開拓など を通じた地方創生事業

◇グローバル研修

目的:

学校や地域企業との学習を離れ、グローバルな観点から社会や職業を見つめるために大規模最先端の工場見学、学校見学を行う。

対象クラス	企業名	場所	内容	実施日
MVES	石川県富士通プロダクツ 本田農園	石川県かほく市 金沢市三社町	大規模先端工場、 スマート農場見学	3/11
AFBL	合同会社ながの農園 (株)和郷	大飯郡高浜町	大規模園芸ハウス	3/15

現場を見る。聞く。OWNリーワン、最先端技術を感じる。そして、自分に関する問いを見つけ、探究する。その精神を大切にしたいと考えている。

企業には、あらかじめ就活に関する研修ではなく、地域に貢献する産業の使命に関する視点での研修である旨を伝え、生徒は項目別チェックシートをもって臨む。

生徒活動概念図

成果と課題

今年度もコロナに翻弄され、思うように計画が遂行されなかった。そのため、生徒のこの事業による変容を見て取ることが難しい状況だったが、初年度、この事業を持続可能性意識し、以下のことを確立できた。

成果

- ① この事業を総合産業高校としての学校改革と位置付け、全職員で右のような生徒活動概念図を共有することができた。
- ② 生徒は、CEO・産業実務家教員の授業や企業研修を終えての振り返りシートの中で、「産業」というもの、そして「自分が今後仕事に携わっていくことへの自覚が生まれ、夢を持つことができた。
- ③ 8コースそろっての課題研究発表会を行うことができ、今後のこの事業の関わり、推進を確認することができた。

課題

- この事業を持続させるために生徒の変容の捉え方。予算措置の獲得。

